



令和8年2月19日

中小企業技術振興課
直通：092-643-3433
内線：3727、3725
担当：池田、石川

県庁ロビーにて生物食品研究所が開発支援した 地元に愛される食品の展示販売会を初開催します！

県工業技術センター 生物食品研究所は県内食品産業への技術支援として、食品加工や食品成分分析により付加価値の高い食品の開発を進めています。

この度、生物食品研究所がこれまで支援した食品関連企業のみなさまの特産品や新商品などの食品展示販売会および生物食品研究所の業務紹介を、県庁ロビーにて行います。

本イベントでは、賞味期限延長等の技術支援を行った草木饅頭、くるっパイや、製造法の技術支援を行ったすぐもどる椎茸プラス、ソイラクト（機能性表示食品）など全8社から31商品の販売を行います。

ぜひお手に取ってご賞味ください。

1 開催日時

令和8年2月26日（木） 11:00～14:00
2月27日（金） 11:00～14:00

2 場所

福岡県庁1階ロビー 南東壁画前

3 参加企業及び販売品

展示販売日	参加企業	展示販売商品
2月26日 （木）	有限会社江口栄商店（大牟田市）	草木饅頭、しぶ栗、甘露梅
	兼貞物産株式会社（久留米市）	すぐもどる椎茸プラス、乾燥マッシュルーム、乾燥しいたけ
	株式会社 Carna（糸島市）	糸島葱香パスタ麺、糸島ねぎ油、糸島ねぎラー油、糸島葉ねぎの食べる万能旨味つーぷ
	株式会社タケマン（糸島市）	糸島めんま（赤・黒）、ご飯が美味しくなり過ぎるメンマ（チャンジャ味・トウチみそ味）、メンマ好きのためのメンマ、食らえ！メンマスナック
	有限会社日若屋（筑後市）	佃煮（瓶詰）、漬物（瓶詰）
2月27日 （金）	株式会社アガパファーム（筑前町）	ソイラクト、ジンジャーシロップ金姜柑、みらくるそいらくと
	有限会社江口栄商店（大牟田市）	草木饅頭、しぶ栗、甘露梅
	米貴（直方市）	0秒ごはん、0秒玄米、飲む米、飲む玄米、米
	創菓堂素人残月（久留米市）	くるっパイ、素人残月、チーズ残月、シフォンケーキ

五十音順（企業名）

県工業技術センター 生物食品研究所の食品開発支援について

- 県工業技術センターは化学繊維研究所、インテリア研究所、機械電子研究所、そして生物食品研究所の4所から成り、県内ものづくり企業に対し、技術面から総合的に支援して企業の成長・発展を図り、県内産業の振興に貢献しています。
- バイオテクノロジーの基幹研究所として久留米市に所在する生物食品研究所は、食料品・飲料製造業の技術支援のため、ふくおか食品開発支援センターを設置しています。
- 支援センターには多種多様な加工機器と高度な分析機器を整備し、設備をもたない企業もさまざまな新商品の開発や品質評価に取り組むことができます。
- また、機器の開放利用のみでなく、多くの開発支援実績をもつ職員が多角的な視点から商品の企画から品質・生産管理までの食品開発を支援します。

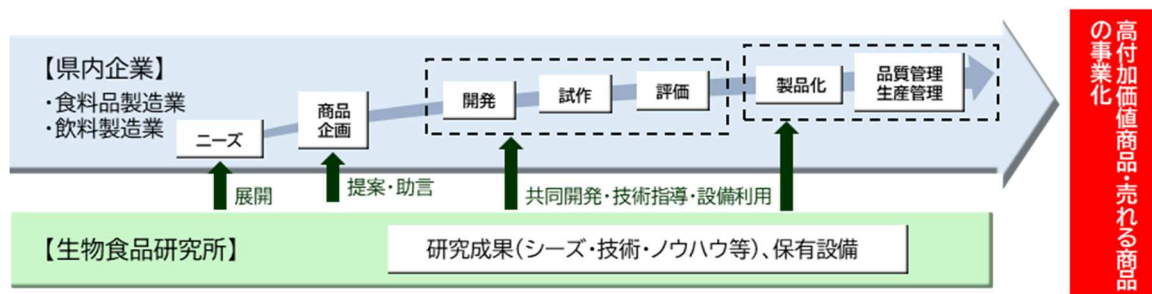


図 企業の商品の事業化に向けた生物食品研究所の技術支援の流れ

- 支援センターを平成26年に設置して以来、200件超の新たな商品が誕生し、それら全体の売上額は50億円を超えました。

【支援事例】分析機器による品質向上支援

酸や糖などの成分分析、食感の物性、表面観察などによる品質検査、さらには微生物検査など食品の品質や安全性を科学的に評価する機器で、食品の客観的評価と改善提案による支援を行っています。

【商品化例】「すぐもどる椎茸プラス（機能性食品）」（兼貞物産株式会社）

✓ 乾燥椎茸中のGABA富化条件の検討



★報道機関の皆さまへ

本イベントの取材を希望する場合は、事前に下記担当までご連絡ください。

生物食品研究所 食品課 友延、青木

電話：0944-30-6215 e-mail：shokuhin-ka@fitc.pref.fukuoka.jp